

# エシカル消費から始まる未来

エシカルファッション

伝統工芸

環境保護

## 公立鳥取環境大学(泉ゼミ)

所在地：鳥取県鳥取市若葉台北1丁目1番1号  
教授：泉 美智子  
所属：経営学部経営学科  
ゼミ学生数：3年 2名/4年 8名/合計 10名  
(平成29年4月1日現在)

### ○事業・活動の概要

泉教授のゼミでは、「パーソナルファイナンス」をテーマに生き方を含めた家計管理、フィナンシャルプランニングについて学ぶ。ただ利益を上げて経済を豊かにするだけではなく、「幸せなお金の使い方」とは何かを大きなテーマの一つとして学ぶ中で、エシカル消費の考え方に出会った。「エシカル研究会」を発足させ、生産者への聴取りを行うなどしてエシカル消費への理解を深め、地域への普及イベントに携わる機会も出てきた。

### ○事業・活動について

山陰地方が運行ルートの一つである豪華寝台特急 TWILIGHT EXPRESS 瑞風の運行開始に当たり、沿線地域をきれいにすることで住民により地域への愛着を深めてもらいたいとの思いの下、地域活性化策として、海岸の清掃活動を企画した。この企画は「ゴミバト」と題され、1時間に拾ったゴミの重量と種類別の得点を掛け合わせて点数を競うゲーム形式にすることで、楽しみながら参加できるよう工夫されている。平成29年6月に実施した第2回には、地域住民や学生など約50名の参加者があり、総重量300キロを超えるゴミが回収された。

こうした活動がきっかけとなって、鳥取市と協同してエシカル消費に関連するイベントを開催した。学生が、エシカル消費につながる商品について、その商品の裏側や伝えたいことを生産者から聴き取ってポップを作成したり、フェアトレードのコーヒーについて学び、イベント参加者にレクチャーしたりするなど、学んで、遊んで、エシカル消費について考えられる空間作りを行った。

このほか、エシカルファッションショーを企画した。ショーでは、弓浜紘や藍染などの鳥取県の伝統技術を使った服、また、オーガニックコットンや古着のリサイクルなどの環境に配慮した服などの紹介を通して、参加者の方々に、誰が作り、どのような経路をたどり自分の下にきたのかといったことに思いをめぐらせてもらった。

### ○エシカル消費について 学生の声

泉ゼミの学生にエシカル消費について取材したところ、「エシカル消費について調査していく中で、『私によくて、世界にイイ』という言葉に出会った。自分にとって良いことにお金を使った結果、それが地域にとって、世界にとって善いことであった、という流れを作れたら良いと考えている。実際に購入するかどうかは別として、まずはエシカル消費について意識してもらうだけでも意味があると思う。また、専門家よりも、一般の消費者に近い学生からエシカル消費を発信することで、より効果的な啓発活動ができるのではないかと思う。」と語った。

### ○他の団体や企業との連携について

エシカルファッションショーの衣装については、学生が提供者に交渉し、ファッションショーの趣旨を理解していただいた上で、衣装提供を受けている。学生自ら交渉を行うことで、学生自身がより深くエシカル消費について学ぶ機会となっている。

事業者や学生と一緒に同じ目的を共有し活動することで、異分野の人と一緒に物事を考えることができるという点でも、学生にとって有益な機会となっている。



公表日：平成30年6月27日

取材：平成29年10月「エシカル・ラボ in とっとり」にて

外部リンク：<http://kids-econ.com/izumi/>

